

C122		民族音楽学	
英名科目名			
大学名	京都教育大学		
連絡先	教務課教務グループ TEL:075-644-8157		
担当教員	田中 多佳子 (音楽科)		
開講期間	2021年10月06日(水)～2022年02月09日(水) 2講時 10時30分～12時00分 冬季休業 2021/12/24(金)～2022/01/05(水) 定期試験週を含む		
開講形態	後期・秋学期	開講曜日・講時	水曜日 2講時
単位数	2	履修年次	
会場	藤森キャンパス		
授業定員			
単位互換生定員	3	京カレッジ生定員	3
試験・評価方法	<p>1. 平常点40%。受講態度、実技・討論参加の積極性、発表の内容などを評価。ワークシート、ミニテスト、ノートのチェックなども予告なしに行うことがある。</p> <p>2. 期末試験60%。視聴覚問題を含む。持ち込み一切不可。</p> <p>3. 授業内容に関わる自由レポートを随時受け付ける。内容に応じて評価の際、加算する。書式・分量などは自由だがオリジナリティのあるものに限る。</p>		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	10,000円		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>【本授業に関する情報】 グローバルが進んだ今日、教育現場では世界の音楽を扱うことが求められているが、それらの基礎を理論的・具体的に学ぶための唯一の授業。「民族音楽学I」「民族音楽学II」の既修者は履修不可。</p> <p>【自学自習についての情報】 初めて耳にするであろう音楽関連用語や概念が頻出するので、予習・復習や補習が必須。また、音楽そのものを聴く時間が限られているので、みずから日常的に積極的にさまざまな音楽を聴く姿勢が求められる。自由レポートは常時提出可。</p> <p>【アクティブラーニングに関する情報】 音や音楽を分析的に聞く場、グループ討論の場、受講者が興味を持つ音楽について発表の場等を設ける。</p> <p>【注意】 京カレッジ生への単位認定は行いません。 車での来学はご遠慮いただいております。 教室は授業初回日に本学掲示板にて確認してください。</p>		
パッケージ科目			
低回数受講推奨科目			
講義概要・到達目標	<p>【授業の概要】 民族音楽学の立場から、日本人とその音楽文化の特性を念頭におきつつ、世界の多様な音楽文化を、それを形成してきた人々の価値観や地理的・歴史的背景と関連づけてグローバルに概説する。異文化理解を通じて、自文化たる日本の音楽や慣れ親しんできた西洋芸術音楽の特性を見直し、音楽科教育の中での取り扱い方や教師の姿勢を考える。</p> <p>【授業の到達目標】 1. 民族音楽学の基本的考え方を理解するとともにその基礎知識を身につける。 2. 世界の多様な音楽文化に親しみ、関連する基礎知識を身につける。 3. さまざまな音楽の特性を音と共に理解し、言葉を用いて説明できるようになる。 4. 以上から世界の音楽をグローバルに平等にとらえる耳と語る言葉を獲得し、音楽科教育と関連づけて考えられる。</p>		

【授業の形式】 基本的に講義形式。視聴覚資料や楽器資料を多用する。適宜、簡単な実技やミニテスト、グループ討論や個別発表等も取り入れる。	
講義スケジュール	
第01回 導入：講義の進め方と履修上の注意、音楽とは 音楽の条件と構成要素	
第02回 人間と音楽の区分 民族のとらえ方と音楽の種類	
第03回 日本と東アジアの音楽文化	
第04回 東アジアの音楽文化	
第05回 東南アジアの音楽文化	
第06回 南アジアの音楽文化	
第07回 中央アジア・西アジアの音楽文化	
第08回 オセアニアの音楽文化	
第09回 ヨーロッパの音楽文化(1)さまざまな楽器と舞踊の音楽	
第10回 ヨーロッパの音楽文化(2)さまざまな声楽	
第11回 アフリカの音楽文化(1)さまざまな音楽のあり方	
第12回 アフリカの音楽文化(2)さまざまな楽器と音楽	
第13回 南アメリカの音楽文化	
第14回 北アメリカの音楽文化	
第15回 総括 世界の人々と音楽	
教科書	必要に応じてプリント資料を配布する。
参考書	参考書は授業時に適宜紹介する。